CentreCOM®

WR211PCI-OP

ユーザーマニュアル

PN J613-M7051-00 Rev.A 001113

安全のために

必ずお守りください

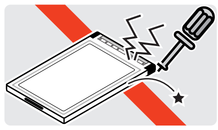




警告　下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により、**死亡や大けが**の原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

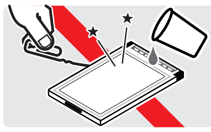
感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物は入れない　水は禁物

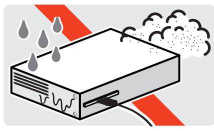
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。（当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。）



異物厳禁

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。



設置場所注意



注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり、周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

高温注意

本製品の使用直後は高温になっています。不用意に触ると、火傷の恐れがあります。



高温注意

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度80%以下の環境でご使用ください）
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
・腐食性ガスの発生する場所



静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



取り付け・取り外しのときの注意

コンピュータのPCIバススロットに本製品を取り付ける作業は、必ず本マニュアル及び、ご使用のコンピュータのマニュアルを参照の上正しく行ってください。



長期保管時は袋に入れて

本製品を長期にわたって保管する場合は、必ず添付の袋（静電防止）に入れてください。



取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。



 お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。



機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



ぬらすな　中性洗剤使用　堅く絞る

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）



シンナー類不可

はじめに

この度は、「CentreCOM WR211PCI-OP」無線LAN PC カード用PCI バスアダプターをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。このマニュアルは、本製品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管くださいますようお願いいたします。

内容物をご確認ください

本製品パッケージの内容は、下記の通りです（下記以外に添付紙が同梱されている場合があります）。お買い上げ商品についてご確認いただき、万一不足するものがございましたら、お手数ですが、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

- CentreCOM WR211PCI-OP 本体
- 「セットアップユーティリティー」ディスク（2 枚）
- 「Winroute」ディスク
- ユーザーマニュアル
- 製品保証書（3 年保証）
- お客様インフォメーション登録カード
- ソフトウェア使用許諾書
- シリアル番号ラベル
- 認証キーシール

ドライブ名「A:」「C:」「D:」

本書では、ドライバーのインストール対象となるコンピューター機種として「AT 互換機 /PC98-NXシリーズ」を想定しています。「AT 互換機 /PC98-NX シリーズ」では、ドライブ名として下記を仮定して説明しています。ご使用のコンピューターでドライブ名が異なる場合は、ご使用のコンピューターにおけるものと読み替えてください。

- 「フロッピーディスクドライブ」として「A:」
- 「起動ドライブ（ハードディスク）」として「C:」
- 「CD-ROM ドライブ」として「D:」

表記上の注意

Windows95 には、いくつかのバージョンが存在します。本マニュアルでは、次の意味で使用しています。

- Version B　　Windows95 Ver.4.00.950 B
  このバージョンは「Version B」「OSR2（= OEM Service Release 2）」「Type B」などの呼称が存在しますが、本書では "Version B" に統一します。

電波に関する注意

本製品に「CentreCOM WR211PCM」を装着して利用する際に、いくつかの電波に関する注意があります。詳しくは「CentreCOM WR211PCM」付属のユーザーマニュアルを参照してください。また設置の前に、「安全のために」を必ずお読みください。

目次

1 概要

1.1 特長

CentreCOM WR211PCI-OP（以下、「WR211PCI-OP」と略します）は､弊社製無線 LAN用 PC カード｢CentreCOM WR211PCM｣（別売。以下、WR211PCM と略します）専用の PCI バスアダプターです。

本製品は、次のコンピューター機種で使用可能です。

- PC-AT 互換機 （DOS/V）
- NEC PC98-NX シリーズ

1.2 対応オペレーティングシステム

本製品および添付のセットアップユーティリティーは、次のオペレーティングシステム（OS）に対応しています。

- Windows 95 Version B以上
- Windows 98（Second Editionを含む）
- Windows 2000
- Windows Me

注意　WR211PCI-OP は、Windows NT には対応しておりません。

1.3 各部の名称と働き

① コネクター端子

コンピューターの PCI バススロットとのコネクター端子です。触らないようにご注意ください。静電気を帯びた手（体）で触れると、静電気の放電により故障の原因となります。

② 警告ラベル

WR211PCM の装着方向を示すラベルです。必ず、指示された方向に、装着してください。
誤った向きでは、正しく装着できません。無理に入れようとするとWR211PCI-OP およびWR211PCM が故障するおそれがありますので、おやめください。

③ PC カードスロット

WR211PCM を挿入するスロットです。挿入する際は、向きに注意してください。

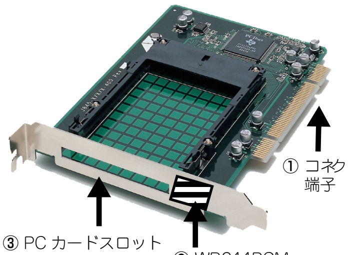


図 1.3.0.1 WR211PCI-OP 外観図

本製品をご使用になる前に、必ず､｢セットアップユーティリティー 1of2」に含まれる「README.*」ファイルをお読みください。「README.*」には、本書には含まれていない最新の情報が記載されています。

注意　README.1ST（Read me first.）ファイルには、ドライバーディスクの詳細なディレクトリ構造やドライバーディスク全体に関わることが記載されています。README.95、README.98、README.NT、README.2K、README.ME ファイルには、それぞれのOS用ドライバーに関する詳細情報が記載されています。

1.4 使用時の注意

本製品は、WR211PCM をデスクトップ機で使用するための、オプションカードです。したがって、通信時の使用方法等の詳細については、「CentreCOM WR211PCM」に付属のユーザーマニュアルを参照してください。本書では、WR211PCI-OP をWR211PCM と併用する際のインストール方法について、説明します。

注意　コネクターの端子にはさわらないでください。静電気を帯びた手（体）でコネクターの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。

注意　上記の注意に従わず、誤った使い方をした場合に発生した故障につきましては、製品保証の対象外とさせていただきます。

注意　本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分（水道の蛇口、ドアノブ等）に触れて体内の静電気を放電してください。この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。

2 インストール

この章では、WR211PCI-OP をWR211PCM と併用する際の、各OS へのドライバーのインストール方法を説明します。お使いの OS により、「2.1 Windows 98」（p.7）、「2.2 Windows 2000」（p.13）、「2.3 Windows Me」（p.16）または「2.4 Windows 95」（p.20）の各ページを参照してください。

OS の種類に関わらず、WR211PCM をWR211PCI-OP と併用するためのドライバーおよびユーティリティーのインストールには、必ず、**本製品（WR211PCI-OP）に付属の**「セットアップユーティリティー」ディスクを使用してください。
WR211PCMに付属のものは、絶対に使用しないでください。

2.1 Windows 98

本製品をシステムにインストールする手順について説明します。インストールは、次の 5 段階の手順で実行してください。

（1）「WR211PCI-OP　アダプタセットアップ」のインストール（付属の「セットアップユーティリティー」ディスクを使用）
この段階では、本製品はまだコンピューターへは取り付けません。

（2）本製品のコンピューターへの取り付けおよびドライバーのインストール

（3）「Winroute」のインストール（付属の「Winroute」と言うラベルが貼ってあるディスクを使用）

（4）WR211PCM の装着およびドライバーのインストール

（5）「Wireless LAN Configuration Utility」のインストール（付属の「セットアップユーティリティー」ディスクを使用）

2.1.1 インストールを始める前に

■用意するもの

- WR211PCI-OP 本体
- WR211PCM 本体
- 「セットアップユーティリティー」ディスク 2 枚
- 「Winroute」ディスク
- Windows 98 のCD-ROM

注意
Windows 98 が、コンピューター購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合は、Windows 98 のバックアップ CD-ROM が付属しているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のため必ずフロッピーディスク等に Windows 98のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップの手順については、ご使用のコンピューターのマニュアルをご覧になるか、コンピューターメーカーにご確認ください。

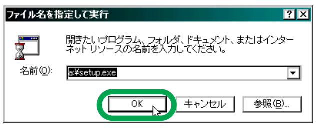
注意
ハードディスク内のデータは、必ずフロッピー ディスク 等にバックアップをとった後で、ドライバーのインストールを開始してください。 特に重要なデータについては、必ずバックアップをとられることをお勧めします。
また、いかなる場合でも、データが消失または破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

2.1.2 アダプタセットアップのインストール

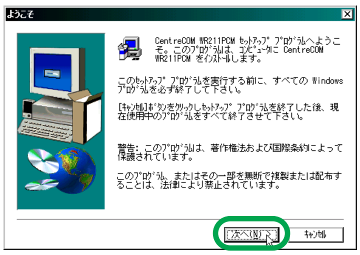
（1）コンピューターの電源をオンにし、Windows 98 を起動します。

（2）コンピューターのフロッピーディスクドライブに、「セットアップユーティリティー 1 of 2」を挿入します。**このとき、WR211PCI-OP は、まだ装着しないでください。**

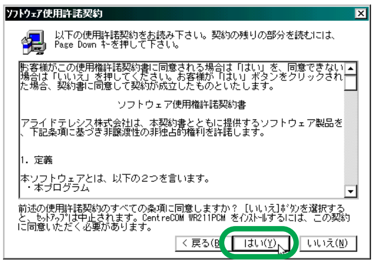
（3）「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。「名前」に「A:¥setup.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。



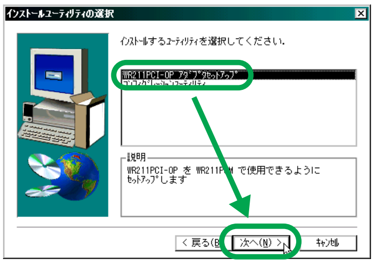
（4）セットアッププログラムのインストーラが起動したら、「次へ」ボタンをクリックします。



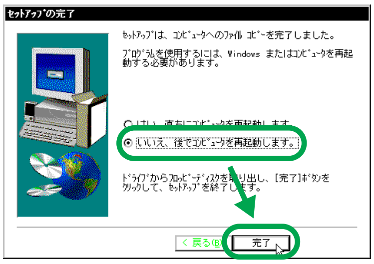
（5）「ソフトウェア使用許諾契約」をよくお読みになり、同意の上、「はい」ボタンをクリックします。



(6) 「WR211PCI-OP アダプタセットアップ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



(7) これで、セットアッププログラムのインストールは、完了です。この後、WR211PCI-OP ドライバーのインストールを行うため、コンピューターを終了します。
「いいえ、後でコンピュータを再起動します。」を選択し、フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「完了」ボタンをクリックしてください。



(8) 「スタート」ボタンから「WIndows の終了」をクリックします。「電源を切れる状態にする」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

2.1.3 WR211PCI-OP の取り付けおよびドライバーのインストール

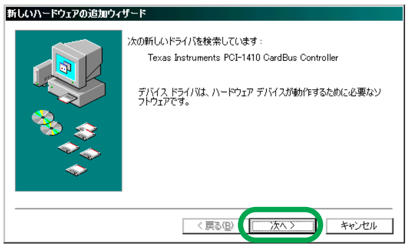
⚠ 注意　本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分（水道の蛇口、ドアノブ等）に触れて体内の静電気を放電してください。この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。

(1) コンピューター本体の電源を切り、電源ケーブルを抜いた状態にします。

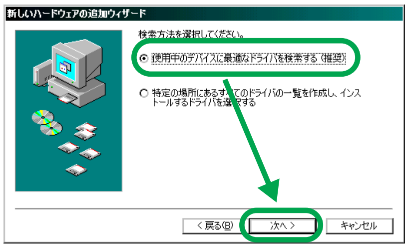
(2) 本製品を PCI バススロットに取り付けます。
このとき、WR211PCM はまだ装着しないでください。

(3) コンピューターの電源を入れ、Windows 98 を起動します。

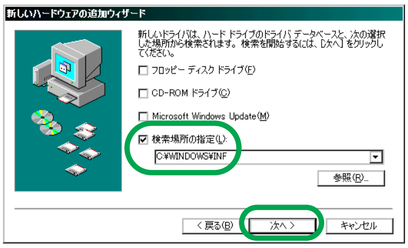
(4) OS が自動的に WR211PCI-OP を検出し、次の画面が表示されます。「次へ」ボタンをクリックします。



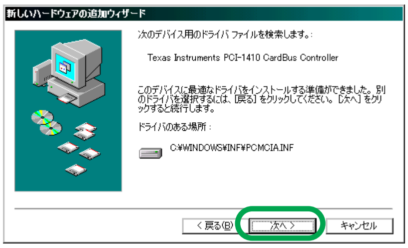
(5) 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



(6) 「検索場所の指定」のみをチェックし、「C:¥WINDOWS¥INF」と入力し、「次へ」ボタンをクリックします。



(7) 「ドライバのある場所」が、「C:¥WINDOWS¥INF¥PCMCIA.INF」となっていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。



注意

途中で、Windows 98/Windows 98 SE の供給メディアを要求されることがあります。供給メディアが CD-ROM の場合は、「ファイルのコピー元」に「d:¥win98」と入力してください。

注意

Windows 98/Windows 98 SEがプレインストール版の場合は、「ファイルのコピー元」で「c:¥windows¥options¥cabs」を入力してください。

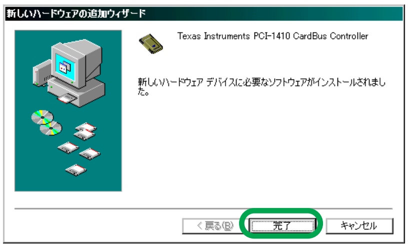
注意

コンピューターの機種によっては、必要なファイルが「¥windows¥options¥cabs」に存在しないことがあります。その場合は、コンピューターのマニュアルをご覧になるか、スタートメニューの検索コマンドにより拡張子が「cab」のファイルが存在するディレクトリを検索し、そのディレクトリを指定してください。

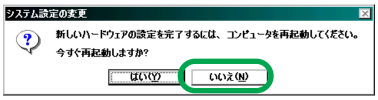
注意

コンピューターの機種や環境によっては、**「PC カード(PCMCIA)ウィザード」**が起動する場合があります。「PC カード (PCMCIA) ウィザード」では、2 つの質問が表示されます。どちらも**「いいえ」**を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。22 ページの手順 (8) も参考にしてください。

(8) ファイルがコピーされ、インストールが完了します。フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「完了」ボタンをクリックしてください。



(9) コンピューターを再起動するかどうかを聞いてきますので、「いいえ」ボタンをクリックします。



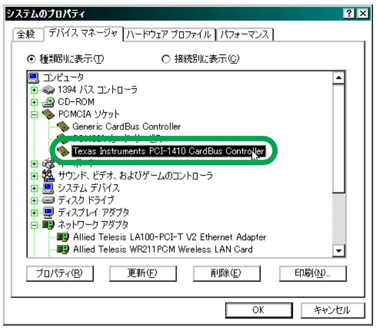
(10)「スタート」ボタンから「Windows の終了」をクリックし、「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

2.1.4 WR211PCI-OP ドライバーの確認

ドライバーのインストールが終了したら、次の手順に従って、正しくインストールされているかを確認します。

(1) 「スタート」メニューから「設定」を選択し、「コントロールパネル」をクリックします。「コントロールパネル」から「システム」アイコンをダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

(2) 「PCMCIA ソケット」をダブルクリックし、その下に「Texas Instruments PCI-1410 CardBus Controller」が表示され、「!」マークや「×」マークがついていないことを確認します。



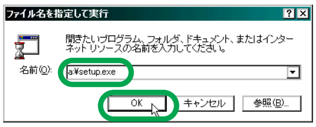
2.1.5 Winroute のインストール

次に、Winroute をインストールします。これは、Windows 98/Windows 98 SE 環境において、WR211PCM にリソース（I/O ポートアドレスや割り込み要求（IRQ）など）を提供するために必要なユーティリティーです。

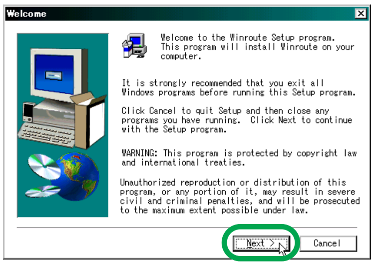
(1) すべての Windows プログラムを終了します。

(2) 「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択し、「名前」に「a:¥setup.exe」と入力します。

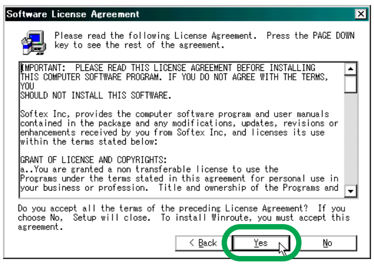
「Winroute」ラベルの貼ってあるディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、「OK」ボタンをクリックします。



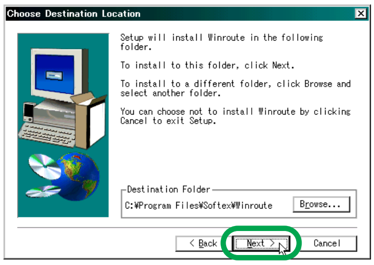
(3) 「Welcome」画面が表示されたら、「Next」ボタンをクリックします。



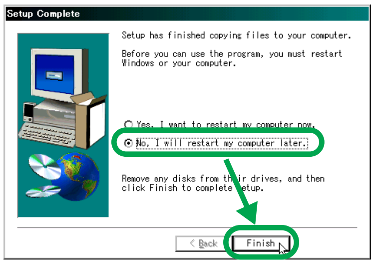
(4) 「Software License Agreement」（ソフトウェア使用許諾契約）画面が表示されます。よくお読みになり、同意の上、「Yes」ボタンをクリックします。



(5) インストール先を指定します。任意のフォルダーにインストールする場合は、「Browse」ボタンをクリックし、フォルダーを指定します。指定したら、「Next」ボタンをクリックします。



(6) ファイルのコピーが行われ、セットアップが完了します。その後、一度、コンピューターの電源を落とした状態から、WR211PCM のセットアップを行います。そのため、「No, I will restart my computer later.」を選択し、フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「Finish」ボタンをクリックします。



(7) 「スタート」ボタンから「Windows の終了」をクリックし、「電源を切れる状態にする」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

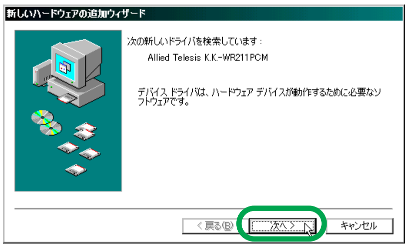
2.1.6 WR211PCM の装着
およびドライバーのインストール

(1) コンピューターの電源が切れている状態で、WR211PCM を WR211PCI-OP の PC カードスロットに挿入します。

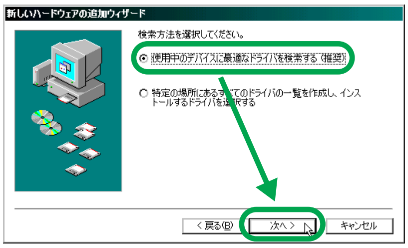
注意　WR211PCI-OP は、ホットスワップ（活線挿抜）機能をサポートしていません。WR211PCM を挿入する際は、必ず、**コンピューターの電源を切った状態で**、行ってください。

注意　挿入する方向に注意してください。PC カードスロット横の注意書きに従って、WR211PCM の製品ラベルが正しい向きになるように、挿入してください。逆向きに挿入した場合、途中までしか挿入できず、この状態で無理に挿入しようとすると、WR211PCM カードおよび WR211PCI-OP アダプターの双方を破損するおそれがあります。
詳しくは、「5.1 WR211PCM の取り付け」（p.27）を参照してください。

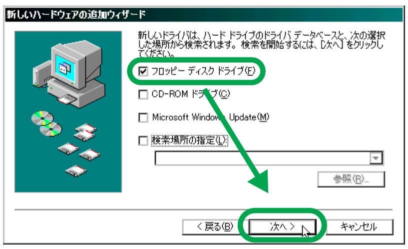
(2) コンピューターの電源を入れると、自動的に WR211PCM が検出されます。「次へ」ボタンをクリックして、ドライバーのインストールを行います。



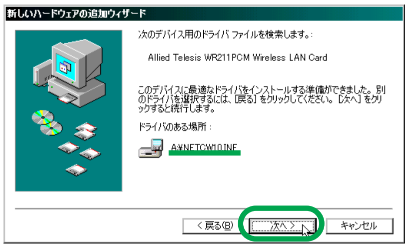
(3) 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



(4) 検索場所を「フロッピーディスクドライブ」のみチェックします。フロッピーディスクドライブに、「セットアップユーティリティー 1 of 2」をフロッピーディスクドライブに挿入し、「次へ」ボタンをクリックします。



(5) 「ドライバのある場所」が、「A:¥NETCW10.INF」となっていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。



(6) ファイルのコピーが開始されます。

注意
途中で、Windows 98/Windows 98 SE の供給メディアを要求されることがあります。供給メディアが CD-ROM の場合は、「ファイルのコピー元」に「d:¥win98」と入力してください。

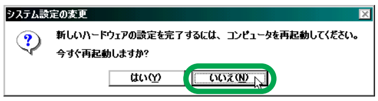
注意
Windows 98/Windows 98 SEがプレインストール版の場合は、「ファイルのコピー元」で「c:¥windows¥options¥cabs」を入力してください。

注意
コンピューターの機種によっては、必要なファイルが「¥windows¥options¥cabs」に存在しないことがあります。その場合は、コンピューターのマニュアルをご覧になるか、スタートメニューの検索コマンドにより拡張子が「cab」のファイルが存在するディレクトリを検索し、そのディレクトリを指定してください。

(7) ファイルのコピーが完了したら、フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「完了」ボタンをクリックします。



(8) コンピューターを再起動するかどうかを聞いてきますので、「いいえ」ボタンをクリックします。



(9) 「スタート」ボタンから「Windows の終了」をクリックし、「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

注意
コンピューターの機種によっては、インストール直後にデバイスマネージャを確認した際、「Allied Telesis WR211PCM Wire-

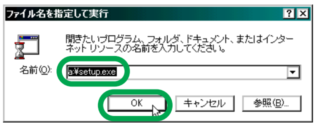
less LAN Card」に「!」マークが表示されることがあります。この場合、再起動を行うことで表示が消えます。

2.1.7 「Wireless LAN Configuration Utility」のインストール

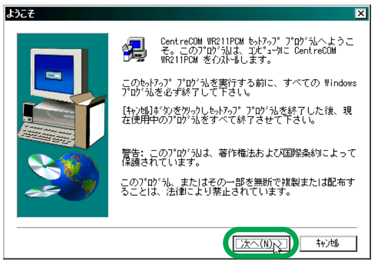
(1) ユーティリティープログラムのセットアップを行う前に、すべてのWindows プログラムを終了させます。

(2) 「スタート」メニューから「ファイルを指定して実行」を選択し、「名前」に「a:¥setup.exe」と入力します。

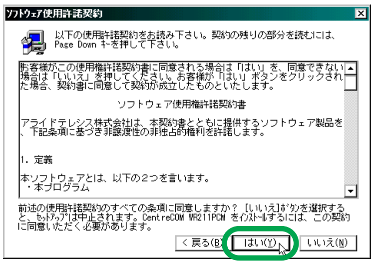
「セットアップユーティリティー 1 of 2」をフロッピーディスクドライブに挿入し、「OK」ボタンをクリックします。



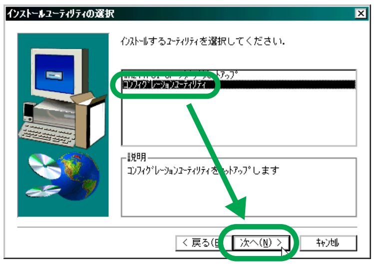
(3) インストール開始画面が表示されるので、「次へ」ボタンをクリックします。



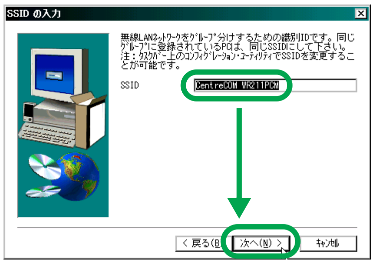
(4) ソフトウェア使用許諾契約をよくお読みになり、同意の上、「はい」ボタンをクリックします。



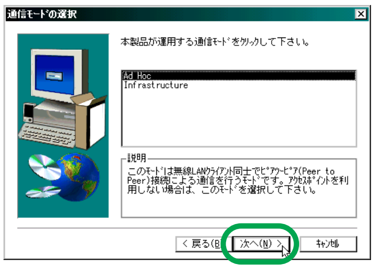
(5) 「コンフィグレーションユーティリティ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



(6) 「SSID」を入力します。これは、手順(7)で「Infrastructure」モードを選択した場合に、有効になります。セキュリティー上、使用する SSID をデフォルトから変更することをお勧めします。また、この値は後から変更することも可能です。

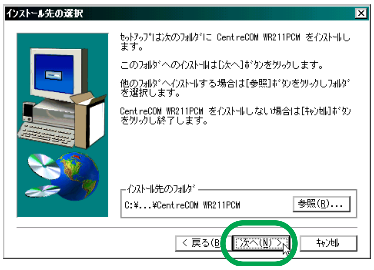


(7) 通信モードを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



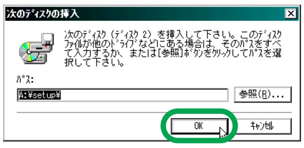
- Ad Hoc
  WR211PCM カードを取り付けたコンピューター同士、1 対 1 (Peer to Peer) でネットワーク接続する場合に選択します。アクセスポイントを使用しない場合、このモードを選択してください。
- Infrastructure
  アクセスポイントを経由して他のコンピューターと通信を行う場合に選択します。アクセスポイントが使用可能な場合、このモードを選択してください。

(8) インストール先を指定します。任意のフォルダーにインストールする場合は、「参照」ボタンをクリックし、フォルダーを指定します。指定したら、「次へ」ボタンをクリックします。

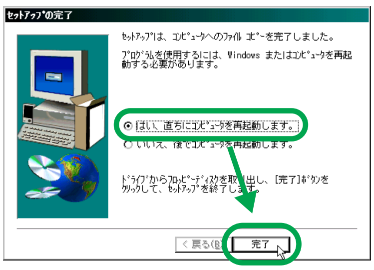


(9) ファイルのコピーを開始します。
次のディスクを挿入するプロンプトが表示されたら、「セットアップユーティリティー 2 of 2」を、フロッピーディスクドライブに挿入し、「OK」ボタンをクリックします。

ファイルのコピー中に、「新しいファイルがコンピュータに存在します。」と言うメッセージが出たら、「はい」を選択して、インストールを続行します。



(10) セットアップが完了したら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「完了」ボタンをクリックします。



(11) コンピューターを再起動すると、タスクトレイに無線 LAN アイコンが表示されます。無線 LAN アイコンについての詳細は、WR211PCM に付属のユーザーマニュアルを参照してください。



2.2 Windows 2000

本製品をWindows 2000 にインストールする手順について説明します。インストールは、次の 3 段階の手順で実行してください。

(1) 本製品のコンピューターへの取り付けおよびドライバーのインストール

(2) WR211PCM の装着およびドライバーのインストール

(3) 「Wireless LAN Configuration Utility」のインストール（付属の「セットアップユーティリティー」ディスクを使用）

2.2.1 インストールを始める前に

■用意するもの

- WR211PCI-OP 本体
- WR211PCM 本体
- 「セットアップユーティリティー」ディスク 2 枚

注意
ハードディスク内のデータは、必ずフロッピーディスク等にバックアップをとった後で、ドライバーのインストールを開始してください。特に重要なデータについては、必ずバックアップをとられることをお勧めします。
また、いかなる場合でも、データが消失または破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

2.2.2 WR211PCI-OP の取り付けおよびドライバーのインストール

注意
本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分（水道の蛇口、ドアノブ等）に触れて体内の静電気を放電してください。この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。

(1) コンピューター本体の電源を切り、電源ケーブルを抜いた状態にします。

(2) 本製品を PCI バススロットに取り付けます。
このとき、WR211PCM はまだ装着しないでください。

(3) コンピューターの電源を入れ、「Administrator」または「Administrator」の権限を付与されたユーザー名でログインします。「Administrator」についての詳細は、Windows 2000 のマニュアル等を参照してください。

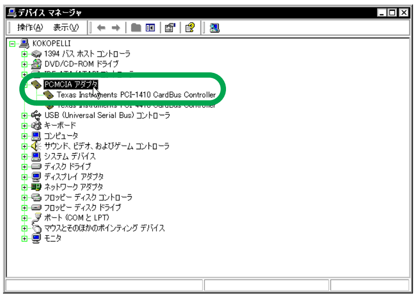
(4) OS が自動的に WR211PCI-OP を検出し、ドライバーがインストールされます。

2.2.3 WR211PCI-OP ドライバーの確認

ドライバーのインストールが終了したら、次の手順に従って、正しくインストールされているかを確認します。

(1) 「スタート」メニューから「設定」を選択し、「コントロールパネル」をクリックします。「システム」アイコンをダブルクリックし、「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

(2) 「PCMCIA アダプタ」をダブルクリックし、その下に「Texas Instruments PCI-1410 CardBus Controller」が表示され、「！」マークや「×」マークがついていないことを確認します。



(3) 確認が完了したら、「スタート」メニューから「シャットダウン」をクリックし、「シャットダウン」を選択し、「OK」をクリックして、コンピューターの電源を切ります。

2.2.4 WR211PCM の装着 および ドライバーのインストール

(1) コンピューターの電源が切れている状態で、WR211PCM を WR211PCI-OP の PC カードスロットに挿入します。

注意

WR211PCI-OP は、ホットスワップ（活線挿抜）機能をサポートしていません。WR211PCM を挿入する際は、必ず、**コンピューターの電源を切った状態で**、行ってください。

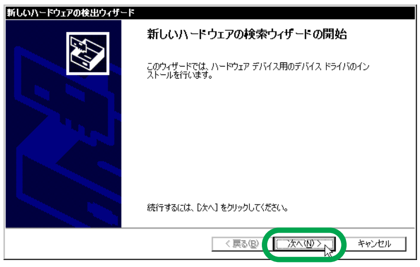
注意

挿入する方向に注意してください。PC カードスロット横の注意書きに従って、WR211PCM の製品ラベルが正しい向きになるように、挿入してください。逆向きに挿入した場合、途中までしか挿入できず、この状態で無理に挿入しようとすると、WR211PCM カードおよび WR211PCI-OP アダプターの双方を破損するおそれがあります。
詳しくは、「5.1 WR211PCM の取り付け」（p.27）を参照してください。

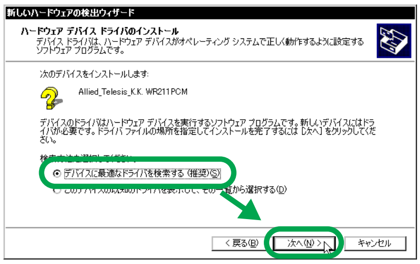
(2) コンピューターの電源を入れ、Administrator 権限でログインします。自動的に WR211PCM が検出されます。



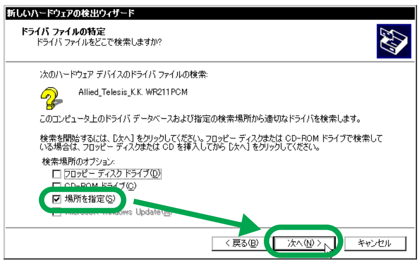
(3) ドライバーのインストールが開始されたら、「次へ」ボタンをクリックします。



(4) 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

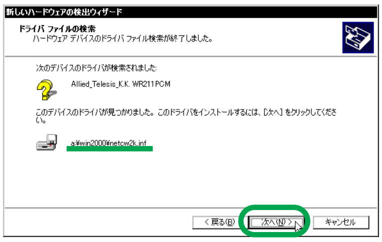


(5) 検索場所として「場所を指定」のみチェックし、「次へ」ボタンをクリックします。

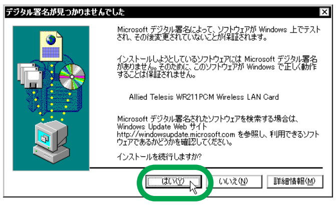


(6) フロッピーディスクドライブに、「セットアップユーティリティー 1 of 2」を挿入し、「製造元のファイルのコピー元」に「a:¥WIN2000」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。

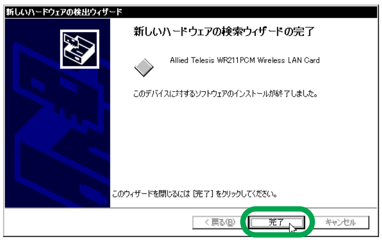
(7) 見つかったドライバーが「a:¥win2000¥netcw2k.inf」であることを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。



(8) 「デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックし、インストールを続行します。



(9) インストールが終了したら、フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「完了」ボタンをクリックします。これで、WR211PCM ドライバーのインストールは完了です。



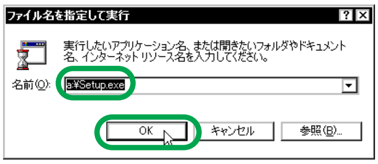
通常、Windows 2000 では、ドライバーをインストールした後のOS の再起動は必要ありませんが、OS より再起動を求められることがあります。その場合は、再起動を行ってください。

2.2.5 「Wireless LAN Configuration Ulitility」のインストール

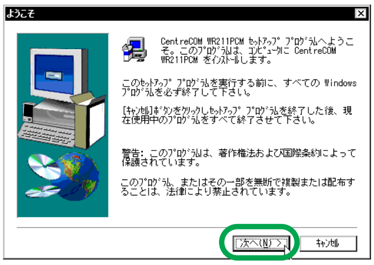
(1) ユーティリティープログラムのセットアップを行う前に、すべてのWindows プログラムを終了させます。

(2) 「スタート」メニューから「ファイルを指定して実行」を選択し、「名前」に「a:¥setup.exe」と入力します。

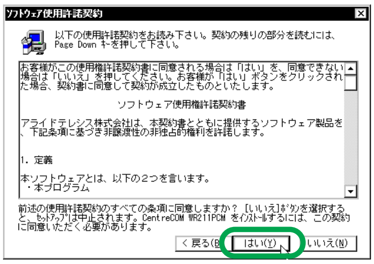
「セットアップユーティリティー 1 of 2」をフロッピーディスクドライブに挿入し、「OK」ボタンをクリックします。



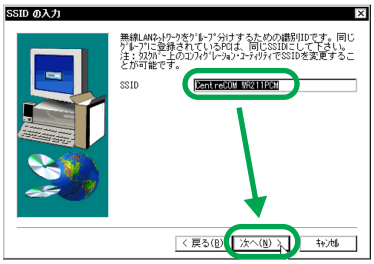
(3) インストール開始画面が表示されるので、「次へ」ボタンをクリックします。



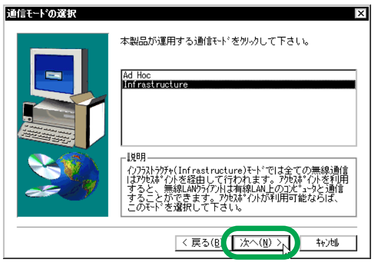
(4) ソフトウェア使用許諾契約をよくお読みになり、同意の上、「はい」ボタンをクリックします。



(5) 「SSID」を入力します。これは、手順(6)で「Infrastructure」モードを選択した場合に、有効になります。セキュリティー上、使用する SSID をデフォルトから変更することをお勧めします。また、この値は後から変更することも可能です。

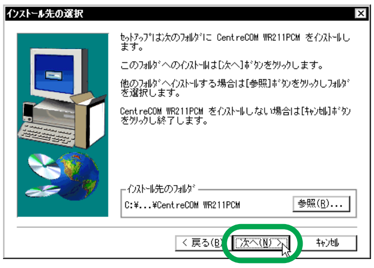


(6) 通信モードを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

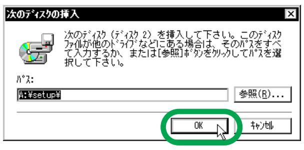


- Ad Hoc
  WR211PCM カードを取り付けたコンピューター同士、1 対 1（Peer to Peer）でネットワーク接続する場合に選択します。アクセスポイントを使用しない場合、このモードを選択してください。
- Infrastructure
  アクセスポイントを経由して他のコンピューターと通信を行う場合に選択します。アクセスポイントが使用可能な場合、このモードを選択してください。

(7) インストール先を指定します。任意のフォルダーにインストールする場合は、「参照」ボタンをクリックし、フォルダーを指定します。指定したら、「次へ」ボタンをクリックします。

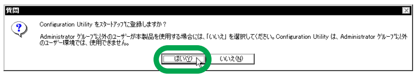


(8) ファイルのコピーを開始します。
次のディスクを挿入するプロンプトが表示されたら、「セットアップユーティリティー 2 of 2」を、フロッピーディスクドライブに挿入し、「OK」ボタンをクリックします。

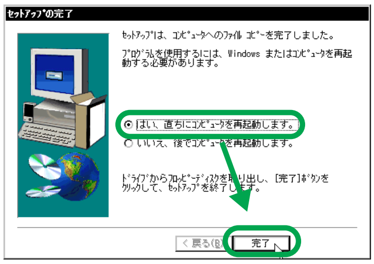


ファイルのコピー中に、「新しいファイルがコンピュータに存在します。」と言うメッセージが出たら、「はい」を選択して、インストールを続行します。

(9) 「スタートアップ」に登録するかどうかの質問が表示されます。コメントをよくお読みになり、どちらかのボタンをクリックします。



(10) セットアップが完了したら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「完了」ボタンをクリックします。



(11) コンピューターを再起動すると、タスクトレイに無線 LAN アイコンが表示されます。無線 LAN アイコンについての詳細は、WR211PCMに付属のユーザーマニュアルを参照してください。



2.3 Windows Me

本製品を Windows Me にインストールする手順について説明します。インストールは、次の 3 段階の手順で実行してください。

(1) 本製品のコンピューターへの取り付けおよびドライバーのインストール

(2) WR211PCM の装着およびドライバーのインストール

(3) 「Wireless LAN Configuration Utility」のインストール（付属の「セットアップユーティリティー」ディスクを使用）

2.3.1 インストールを始める前に

■用意するもの

- WR211PCI-OP 本体
- WR211PCM 本体
- 「セットアップユーティリティー」ディスク 2 枚

⚠ 注意

ハードディスク内のデータは、必ずフロッピーディスク等にバックアップをとった後で、ドライバーのインストールを開始してください。特に重要なデータについては、必ずバックアップをとられることをお勧めします。
また、いかなる場合でも、データが消失または破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

2.3.2 WR211PCI-OP の取り付けおよびドライバーのインストール

⚠ 注意

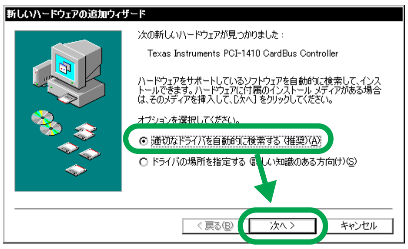
本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分（水道の蛇口、ドアノブ等）に触れて体内の静電気を放電してください。この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。

(1) コンピューター本体の電源を切り、電源ケーブルを抜いた状態にします。

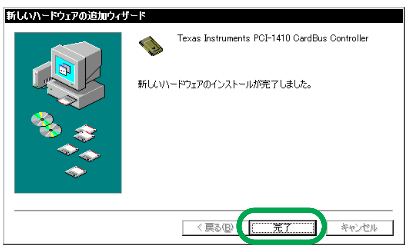
(2) 本製品をPCI バススロットに取り付けます。
このとき、WR211PCM はまだ装着しないでください。

(3) コンピューターの電源を入れ、Windows Me を起動します。

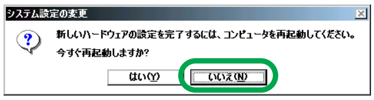
(4) OS が自動的に WR211PCI-OP を検出し、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。
「適切なドライバを自動的に検索する（推奨）」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



(5) ハードウェアのインストールが完了したことを確認し、「完了」ボタンをクリックします。



(6) これで、WR211PCI-OP ドライバーのインストールは、完了です。この後、WR211PCM ドライバーのインストールを行うため、コンピューターを終了します。「いいえ」ボタンをクリックします。



(7) 「スタート」ボタンの「WIndows の終了」から、「電源を切れる状態にする」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

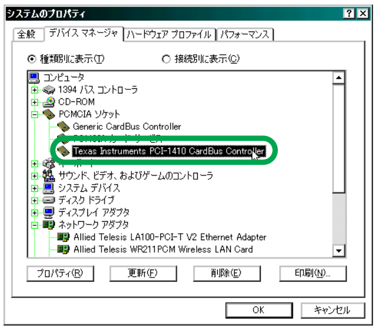
2.3.3 WR211PCI-OP ドライバーの確認

ドライバーのインストールが終了したら、次の手順に従って、正しくインストールされているかを確認します。

(1) コンピューターを起動します。

(2) 「スタート」メニューから「設定」を選択し、「コントロールパネル」をクリックします。「コントロールパネル」から「システム」アイコンをダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

(3) 「PCMCIA ソケット」をダブルクリックし、その下に「Texas Instruments PCI-1410 CardBus Controller」が表示され、「！」マークや「×」マークがついていないことを確認します。



(4) 確認が完了したら、「スタート」ボタンの「WIndows の終了」から、「電源を切れる状態にする」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

2.3.4 WR211PCM の装着およびドライバーのインストール

(1) コンピューターの電源が切れている状態で、WR211PCM をWR211PCI-OP のPC カードスロットに挿入します。

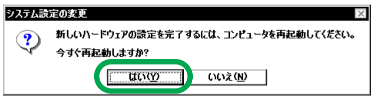
⚠ 注意

WR211PCI-OP は、ホットスワップ（活線挿抜）機能をサポートしていません。WR211PCM を挿入する際は、必ず、**コンピューターの電源を切った状態で**、行ってください。

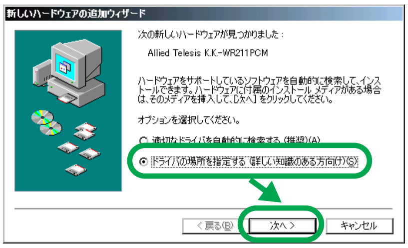
注意

挿入する方向に注意してください。PC カードスロット横の注意書きに従って、WR211PCM の製品ラベルが正しい向きになるように、挿入してください。逆向きに挿入した場合、途中までしか挿入できず、この状態で無理に挿入しようとすると、WR211PCM カードおよび WR211PCI-OP アダプターの双方を破損するおそれがあります。
詳しくは、「5.1 WR211PCM の取り付け」（p.27）を参照してください。

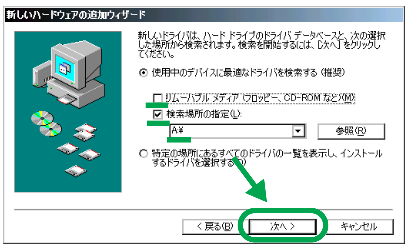
(2) コンピューターの電源を入れ、Windows Me を起動します。「PCMCIA カードサービス」を検出し、自動的に設定されます。「コンピュータを再起動してください。」と言うメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックします。



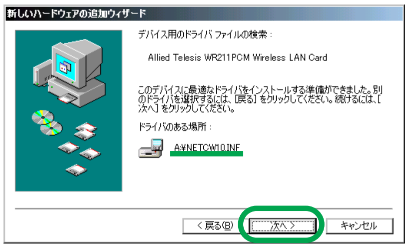
(3) 再起動後、「Allied Telesis K.K.-WR211PCM」が自動的に検出されます。「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



(4) 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択します。「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）」のチェックを外します。「検索場所の指定」をチェックし、ドライバーのパスとして「A:¥」と入力します。
フロッピーディスクドライブに、「セットアップユーティリティー 1 of 2」を挿入し、「次へ」ボタンをクリックします。



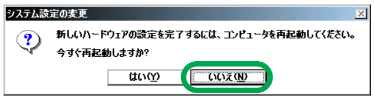
(5) 「ドライバのある場所」が、「A:¥NETCW10.INF」であることを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。



(6) インストールが終了したら、フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「完了」ボタンをクリックします。これで、WR211PCM ドライバーのインストールは完了です。



(7) 「コンピュータを再起動してください」というメッセージが表示されたら、「いいえ」ボタンをクリックします。



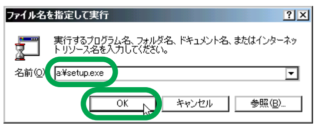
(8) 「スタート」ボタンの「WIndows の終了」から、「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

2.3.5 「Wireless LAN Configuration Ulitility」のインストール

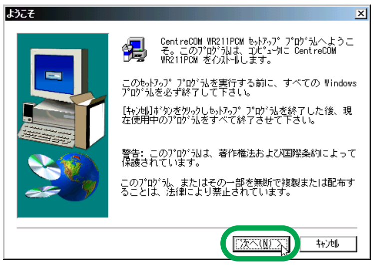
(1) ユーティリティープログラムのセットアップを行う前に、すべての Windows プログラムを終了させます。

(2) 「スタート」メニューから「ファイルを指定して実行」を選択し、「名前」に「a:¥setup.exe」と入力します。

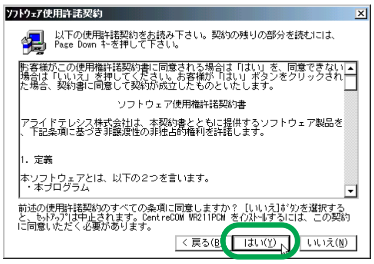
「セットアップユーティリティー 1 of 2」をフロッピーディスクドライブに挿入し、「OK」ボタンをクリックします。



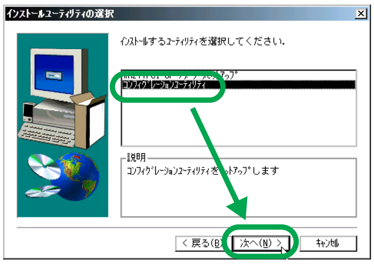
(3) インストール開始画面が表示されるので、「次へ」ボタンをクリックします。



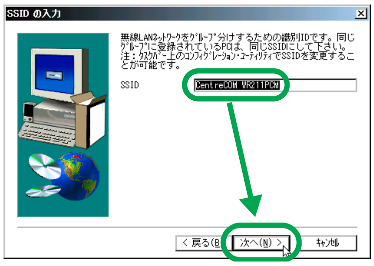
(4) ソフトウェア使用許諾契約をよくお読みになり、同意の上、「はい」ボタンをクリックします。



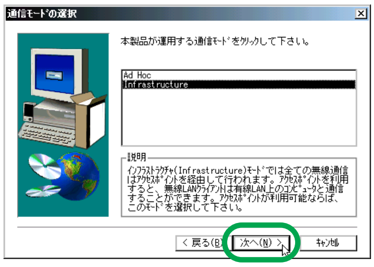
(5) 「コンフィグレーションユーティリティ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



(6) 「SSID」を入力します。これは、手順(7)で「Infrastructure」モードを選択した場合に、有効になります。セキュリティー上、使用するSSIDをデフォルトから変更することをお勧めします。また、この値は後から変更することも可能です。

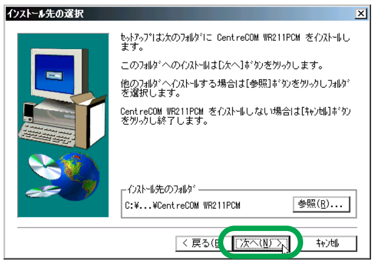


(7) 通信モードを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



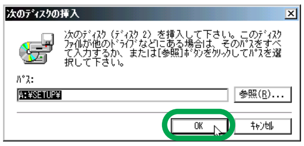
- Ad Hoc
  WR211PCMカードを取り付けたコンピューター同士、1対1（Peer to Peer）でネットワーク接続する場合に選択します。アクセスポイントを使用しない場合、このモードを選択してください。
- Infrastructure
  アクセスポイントを経由して他のコンピューターと通信を行う場合に選択します。アクセスポイントが使用可能な場合、このモードを選択してください。

(8) インストール先を指定します。任意のフォルダーにインストールする場合は、「参照」ボタンをクリックし、フォルダーを指定します。指定したら、「次へ」ボタンをクリックします。



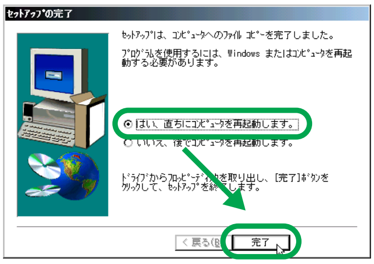
(9) ファイルのコピーを開始します。
次のディスクを挿入するプロンプトが表示されたら、「セッ

トアップユーティリティー 2 of 2」を、フロッピーディスクドライブに挿入し、「OK」ボタンをクリックします。



ファイルのコピー中に、「新しいファイルがコンピュータに存在します。」と言うメッセージが出たら、「はい」を選択して、インストールを続行します。

(10) セットアップが完了したら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「完了」ボタンをクリックします。



(11) コンピューターを再起動すると、タスクトレイに無線 LAN アイコンが表示されます。無線 LAN アイコンについての詳細は、WR211PCM に付属のユーザーマニュアルを参照してください。



2.4 Windows 95

本製品を Windows 95 にインストールする手順について説明します。インストールは、次の 4 段階の手順で実行してください。

(1) 「WR211PCI-OP アダプタセットアップ」のインストール（付属の「セットアップユーティリティー」ディスクを使用）
この段階では、本製品はまだコンピューターへは取り付けません。

(2) 本製品のコンピューターへの取り付けおよびドライバーのインストール

(3) WR211PCM の装着およびドライバーのインストール

(4) 「Wireless LAN Configuration Utility」のインストール（付属の「セットアップユーティリティー」ディスクを使用）

2.4.1 インストールを始める前に

■用意するもの

- WR211PCI-OP 本体
- WR211PCM 本体
- 「セットアップユーティリティー」ディスク 2 枚
- Windows 95 の CD-ROM

注意

Windows 95 が、コンピューター購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合は、Windows 95 のバックアップ CD-ROM が付属しているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のため必ずフロッピーディスク等に Windows 95 のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップの手順については、ご使用のコンピューターのマニュアルをご覧になるか、コンピューターメーカーにご確認ください。

注意

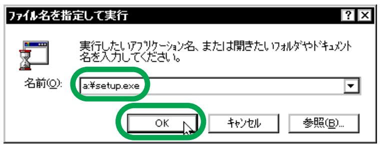
ハードディスク内のデータは、必ずフロッピーディスク等にバックアップをとった後で、ドライバーのインストールを開始してください。特に重要なデータについては、必ずバックアップをとられることをお勧めします。
また、いかなる場合でも、データが消失または破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

2.4.2 アダプタセットアップのインストール

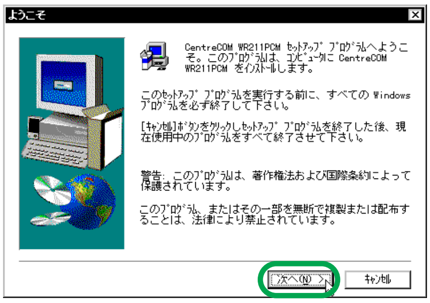
(1) コンピューターの電源を入れ、Windows 95 を起動します。

(2) コンピューターのフロッピーディスクドライブに、「セットアップユーティリティー 1 of 2」を挿入します。
このとき、WR211PCI-OP は、まだ装着しないでください。

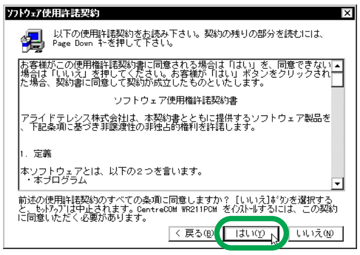
(3) 「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。「名前」に「A:¥setup.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。



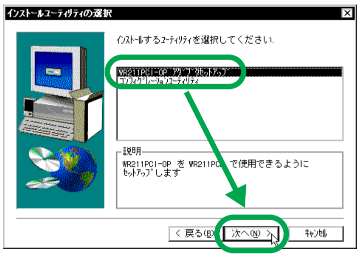
(4) セットアッププログラムのインストーラが起動したら、「次へ」ボタンをクリックします。



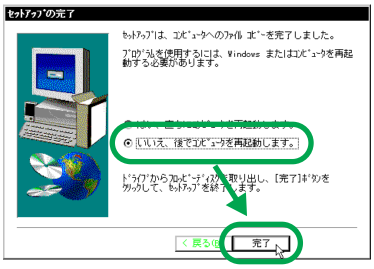
(5)「ソフトウェア使用許諾契約」をよくお読みになり、同意の上、「はい」ボタンをクリックします。



(6)「WR211PCI-OP アダプタセットアップ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



(7) これで、セットアップププログラムのインストールは、完了です。この後、WR211PCI-OP ドライバーのインストールを行うため、コンピューターを終了します。
「いいえ、後でコンピュータを再起動します。」を選択し、フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「完了」ボタンをクリックしてください。



(8)「スタート」ボタンの「WIndowsの終了」から、「コンピュータの電源を切れる状態にする」を選択し、「はい」ボタンをクリックします。

2.4.3 WR211PCI-OP の取り付けおよびドライバーのインストール

注意　本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分（水道の蛇口、ドアノブ等）に触れて体内の静電気を放電してください。この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。

(1) コンピューター本体の電源を切り、電源ケーブルを抜いた状態にします。

(2) 本製品を PCI バススロットに取り付けます。
このとき、WR211PCM はまだ装着しないでください。

(3) コンピューターの電源を入れ、Windows 95 を起動します。

(4) WR211PCI-OP が自動的に認識され、ドライバーがインストールされます。

注意　途中で、Windows 95 の供給メディアを要求されるときがあります。供給メディアが CD-ROM の場合は、「ファイルのコピー元」に「D:¥win95」を入力します（D は CD-ROM のドライブ名です）。

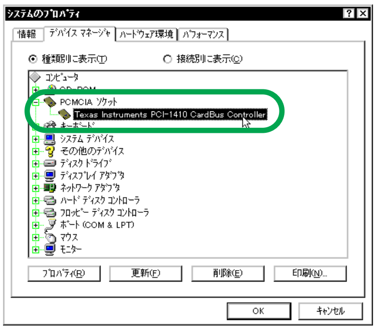
注意　プレインストール版 Windows 95 の場合は、「ファイルのコピー元」に「C:¥windows¥options¥cabs」（※）を入力します。ファイルのコピー中に、「新しいファイルがコンピュータに存在します」と言うメッセージが表示された場合、通常、「はい」ボタンをクリックします。

注意　コンピューターの機種によっては、必要なファイルが「¥windows¥options¥cabs」に存在しないことがあります。その場合は、コンピューターのマニュアルをご覧になるか、「スタート」メニューの検索コマンドにより拡張子が「cab」のファイルが存在するディレクトリを検索し、そのディレクトリを指定します。

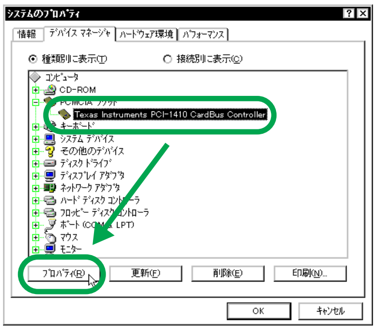
注意

ファイルのコピーが終了し、再起動するかどうかをたずねるメッセージが表示される場合は、「OK」ボタンをクリックし、コンピューターを再起動します。

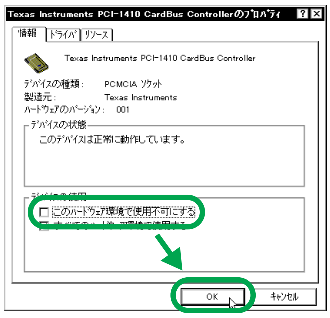
(5) 「スタート」メニューから「設定」を選択し、「コントロールパネル」をクリックします。「システム」アイコンをダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。「PCMCIA ソケット」の下に「Texas Instruments PCI-1410 CardBus Controller」が登録され、「！」マークや「×」マークがついていないことを確認します。



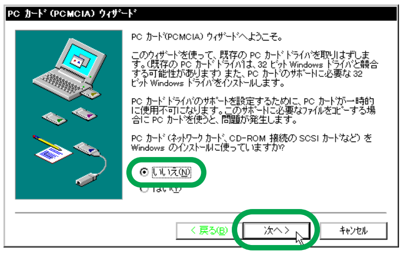
(6) 「Texas Instruments PCI-1410 CardBus Controller」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。

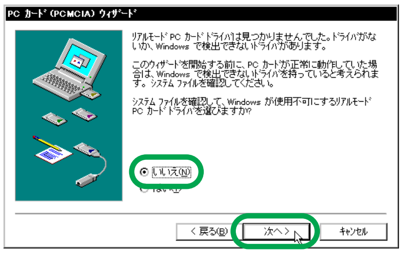


(7) 「デバイスの使用」の「このハードウェア環境で使用不可にする」チェックボックスのチェックを外し、「OK」ボタンをクリックします。

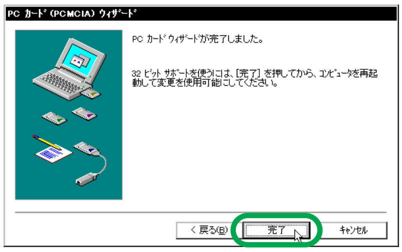


(8) 「PC カード（PCMCIA）ウィザード」が起動し、2 つ質問されます。どちらも「いいえ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

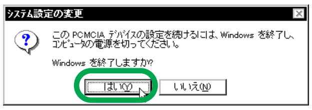




(9) PC カードウィザードが完了したら、「完了」ボタンをクリックします。



(10) PCMCIA デバイスの設定を続行するため、「はい」ボタンをクリックし、Windows を終了します。



2.4.4 WR211PCM の装着
およびドライバーのインストール

(1) コンピューターの電源が切れている状態で、WR211PCM を WR211PCI-OP の PC カードスロットに挿入します。

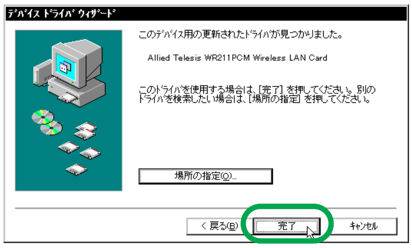
注意　WR211PCI-OP は、ホットスワップ（活線挿抜）機能をサポートしていません。WR211PCM を挿入する際は、必ず、**<u>コンピューターの電源を切った状態で</u>**、行ってください。

注意　挿入する方向に注意してください。PC カードスロット横の注意書きに従って、WR211PCM の製品ラベルが正しい向きになるように、挿入してください。逆向きに挿入した場合、途中までしか挿入できず、この状態で無理に挿入しようとすると、WR211PCM カードおよび WR211PCI-OP アダプターの双方を破損するおそれがあります。
詳しくは、「5.1 WR211PCM の取り付け」（p.27）を参照してください。

(2) コンピューターの電源を入れ、Windows 95 を起動します。「PCMCIA カードサービス」が自動的に検出され、「Allied Telesis K.K.-WR211PCM」と表示されます。「次へ」ボタンをクリックします。



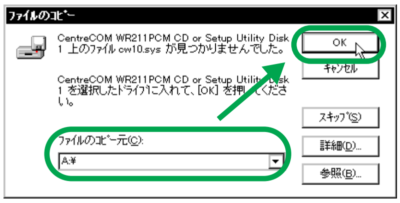
(3) ドライバーが検索されたら、「完了」ボタンをクリックします。



(4) ファイルのコピーが開始されます。インストール中に次の画面が表示されたら、「セットアップユーティリティー 1 of 2」を、フロッピーディスクドライブに挿入し、「OK」ボタンをクリックします。



(5) 次の画面が表示されたら、「ファイルのコピー元」に「A:¥」と入力し、「OK」ボタンをクリックします（Aはフロッピーディスクドライブのドライブ名です）。



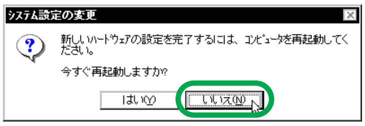
注意　Windows 95 の供給メディアを要求されるときがあります。供給メディアが CD-ROM の場合は、「ファイルのコピー元」に「D:¥win95」を入力します（D は CD-ROM のドライブ名です）。

注意　プレインストール版 Windows 95 の場合は、「ファイルのコピー元」に「C:¥windows¥options¥cabs」を入力します。コンピューターの機種によっては、必要なファイルが「¥windows¥options¥cabs」に存在しないことがあります。その場合は、コンピューターのマニュアルをご覧になるか、「スタート」メニューの検索コマンドにより拡張子が「cab」のファイルが存在するディレクトリを検索し、そのディレクトリを指定します。

注意　ファイルのコピー中に、「新しいファイルがコンピュータに存在します」と言うメッセージが表示された場合、通常、「はい」ボタンをクリックします。

(6) これでドライバーのインストールは終了です。<u>フロッピーディスクドライブからディスクを抜き</u>、「いいえ」ボタンをクリックます。

このダイアログボックスが表示されない場合は、フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、手順(7)に進みます。



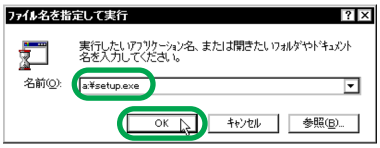
(7)「スタート」ボタンから「Windows の終了」をクリックし、「コンピュータを再起動する」を選択し、「はい」ボタンをクリックします。

2.4.5 「Wireless LAN Configuration Ulitility」のインストール

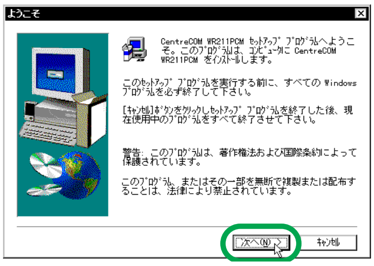
(1) ユーティリティープログラムのセットアップを行う前に、すべてのWindows プログラムを終了させます。

(2)「スタート」メニューから「ファイルを指定して実行」を選択し、「名前」に「a:¥setup.exe」と入力します。

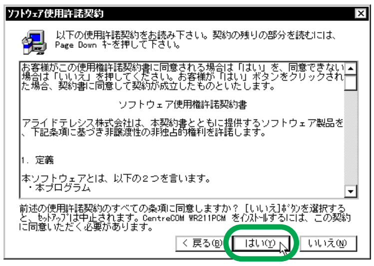
「セットアップユーティリティー 1 of 2」をフロッピーディスクドライブに挿入し、「OK」ボタンをクリックします。



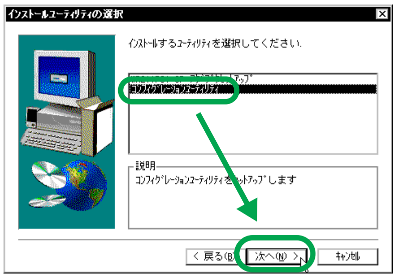
(3) インストール開始画面が表示されるので、「次へ」ボタンをクリックします。



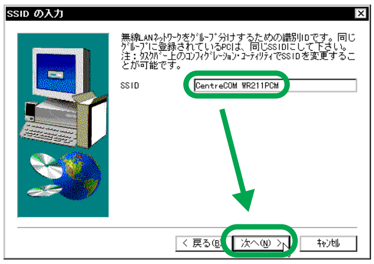
(4)「ソフトウェア使用許諾契約」をよくお読みになり、同意の上、「はい」ボタンをクリックします。



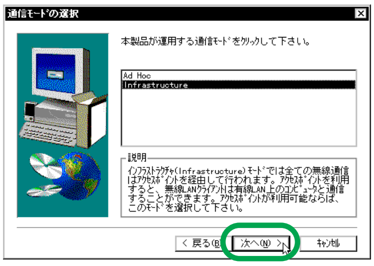
(5)「コンフィグレーションユーティリティ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



(6)「SSID」を入力します。これは、手順(7)で「Infrastructure」モードを選択した場合に、有効になります。セキュリティー上、使用する SSID をデフォルトから変更することをお勧めします。また、この値は後から変更することも可能です。



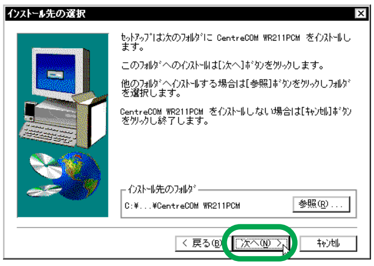
(7) 通信モードを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



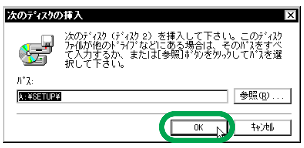
- Ad Hoc
  WR211PCM カードを取り付けたコンピューター同士、1 対 1（Peer to Peer）でネットワーク接続する場合に選択します。アクセスポイントを使用しない場合、このモードを選択してください。

- Infrastructure
  アクセスポイントを経由して他のコンピューターと通信を行う場合に選択します。アクセスポイントが使用可能な場合、このモードを選択してください。

(8) インストール先を指定します。任意のフォルダーにインストールする場合は、「参照」ボタンをクリックし、フォルダーを指定します。指定したら、「次へ」ボタンをクリックします。

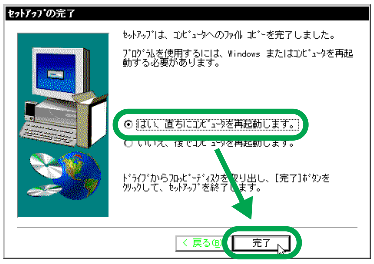


(9) ファイルのコピーを開始します。
次のディスクを挿入するプロンプトが表示されたら、「セットアップユーティリティー 2 of 2」を、フロッピーディスクドライブに挿入し、「OK」ボタンをクリックします。



ファイルのコピー中に、「新しいファイルがコンピュータに存在します。」と言うメッセージが出たら、「はい」を選択して、インストールを続行します。

(10) セットアップが完了したら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「完了」ボタンをクリックします。



(11) コンピューターを再起動すると、タスクトレイに無線 LAN アイコンが表示されます。無線 LAN アイコンについての詳細は、WR211PCM に付属のユーザーマニュアルを参照してください。



3 インストールの確認

ドライバーのインストールが終了したら、正しくインストールされているかを「デバイスマネージャ」で確認します。

■デバイスマネージャの起動

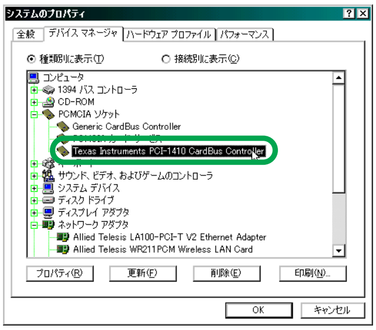
Windows 95/98/Me の場合、「スタート」メニューから「設定」を選択し、「コントロールパネル」をクリックします。「コントロールパネル」から「システム」アイコンをダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

Windows 2000の場合、「スタート」メニューから「設定」を選択し、「コントロールパネル」をクリックします。「コントロールパネル」から「システム」アイコンをダブルクリックし、「ハードウェア」タブから「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

■ドライバーの確認

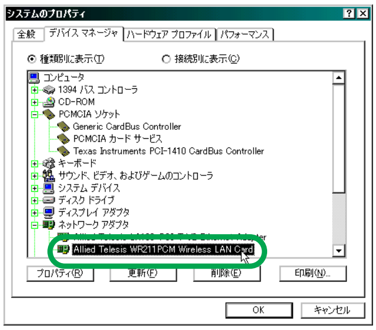
(1) WR211PCI-OP ドライバーの確認

「PCMCIAソケット」をダブルクリックし、その下に「Texas Instruments PCI-1410 CardBus Controller」が表示され、「！」マークや「×」マークがついていないことを確認します。



(2) WR211PCM ドライバーの確認

「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、その下に「Allied Telesis WR211PCM Wireless LAN Card」が表示され、「！」マークや「×」マークがついていないことを確認します。



(3) どちらかに「!」マークや「×」マークがついている場合、ドライバーのインストールまたは設定が正しく行われていません。その場合、「8 トラブルシューティング」(p.29)を参照してください。

Windows 95 の場合：

PCMCIAソケットの「Texas Instruments PCI-1410 CardBus Controller」には「Allied Telesis WR211PCM Wireless LAN Card」が、競合デバイスとして表示されます。また、ネットワークアダプタの「Allied Telesis WR211PCM Wireless LAN Card」には「Texas Instruments PCI-1410 CardBus Controller」が競合デバイスとして表示されます。しかし、これらは動作上は問題ありません。

4 WR211PCM の詳細設定

WR211PCM は、環境によっては設定の変更が必要です。この場合、必ず「Wireless LAN Configuration Utility」から行います。「Allied Telesis WR211PCM Wireless LAN Card」の「詳細設定」からの設定変更は、行わないでください。

「Wireless LAN Configuration Utility」は、タスクトレイの無線LANアイコンをクリックすると、起動します。

Wireless LAN Configuration UtilityによるWR211PCMの設定や、ネットワーク接続についての詳細は、「CentreCOM WR211PCM」に付属のユーザーマニュアルを参照してください。

5 WR211PCM の取り付けおよび取り外しについて

WR211PCI-OP は、ホットスワップ機能をサポートしていません。したがって、WR211PCM の WR211PCI-OP の PC カードスロットへの取り付けおよび取り外しは、OS の種類に関わらず、必ず、**コンピューターの電源を切った状態で**、行ってください。

5.1 WR211PCM の取り付け

WR211PCMを挿入する際は、PCカードスロット横の注意書きに従って、WR211PCM の製品ラベルが正しい向きになるように、挿入してください。間違った向きでは、正しく挿入できません。無理に挿入しようとすると、WR211PCI-OP およびWR211PCM を破損する恐れがありますので、絶対におやめください。

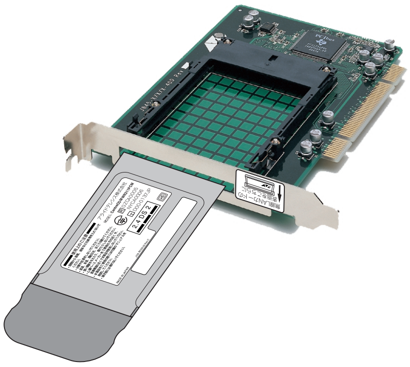


図5.1.0.1　正しい取り付け方向

5.2 WR211PCM の取り外し

WR211PCI-OP は、ホットスワップ機能をサポートしていません。WR211PCM を取り外す際は、コンピューターの電源を切り、その後、WR211PCI-OP のPC カードスロットから引き抜いてください。

注意　以上の手順を守らなかった場合、コンピューターのハングアップや、Windows ファイルの破壊を招く恐れがあります。また、次の手順をお守りいただかないで起こった障害に関しては ユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

6 アンインストール

6.1 WR211PCM ドライバーの アンインストール

WR211PCM ドライバーをシステムから削除するには、次の手順に従って、「Uninstaller」を実行します。「Uninstaller」を実行すると、WR211PCM のドライバーとユーティリティープログラムの両方が削除されます。

「スタート」→「プログラム」→「CentreCOM WR211PCM」→「Uninstaller」

詳しくは、WR211PCM に付属のユーザーマニュアルを参照してください。

6.2 WR211PCI-OP ドライバーの アンインストール

WR211PCI-OP ドライバーのアンインストールは、必要ありません。

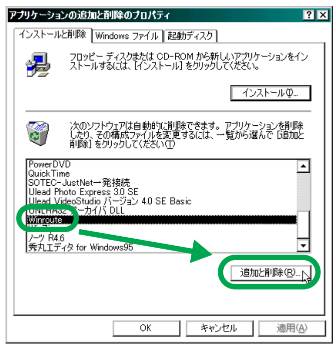
6.3 Winroute のアンインストール (Windows 98 のみ)

(1)「スタート」メニューから「設定」を選択し、「コントロールパネル」をクリックします。

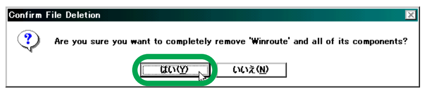
(2)「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。



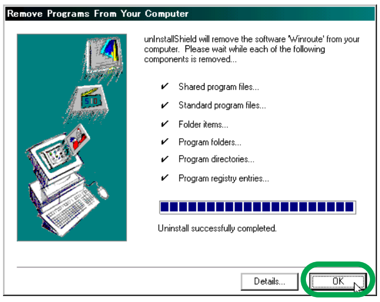
(3)「インストールと削除」タブから、「Winroute」を選択し、「追加と削除」ボタンをクリックします。



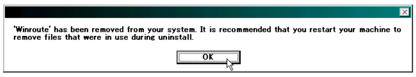
(4)「削除の確認」ダイアログボックスが表示されたら、「はい」ボタンをクリックします。



(5) アンインストールが完了したら、「OK」ボタンをクリックします。



(6) これで「Winroute」が完全に削除されました。「OK」ボタンをクリックし、Uninstallerを終了します。



6.4 WR211PCM および WR211PCI-OP の取り外し

WR211PCMおよび WR211PCI-OP のドライバーをアンインストール後、両製品を次の手順に従って、取り外します。

(1) コンピューターおよび周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。

(2) WR211PCI-OP の PC カードスロットから、WR211PCM カードを引き抜きます。

(3) WR211PCI-OP アダプターを、コンピューターの PCI バススロットから取り外します。

(4) 再度、WR211PCM およびWR211PCI-OP のインストールを行う場合は、本書「2. インストール」を参考に行います。

7 最新ドライバーソフトウェアによるドライバーの更新

アライドテレシスホームページなどにより、本製品の最新ドライバーを入手された場合、次の方法で更新インストールを行ってください。

ホームページによる最新ドライバーの入手方法については、「C.3 最新ドライバーソフトウェアの入手方法」（p.32）をご覧ください。

(1) ドライバーの更新を行う前に、Configuration Utility の各種設定を、メモしておきます（通信モード、SSID、チャンネル、暗号など）

(2) お使いの OS の README ファイルあるいは、取扱説明書内の「6　アンインストール」（p.27）の項を参考にして、WR211PCM をアンインストールします。

(3) 最新ドライバーの README ファイル及び、最新の取扱説明書内の「インストール」の項を参考にして、最新ドライバーをインストールします。

(4) （1）でメモした内容を再度設定します。

8 トラブルシューティング

8.1 PWR（Power）LED が点灯していない

■コンピューターに認識されない

WR211PCI-OPおよびWR211PCM がコンピューターに正しく取り付けられていないと、コンピューターに認識されず、これらのドライバーが自動的にインストールされない、デバイスが検出されないなどの現象が発生します。

●原因 1
WR211PCI-OP がPCI バススロットにきちんと装着されていない。
○対応方法
コンピューターの機種によっては,WR211PCI-OP を PCI バススロットに挿入するときに、挿しにくい場合もありますが、PCI バススロットの奥までしっかりと挿してください。

●原因 2
コンピューターの PCI バススロットが故障している。
○対応方法
·PCIバススロットを複数装備しているコンピューターをご使用の場合は、違うスロットに取り付けて、WR211PCI-OP がコンピューターに認識されることを確認してください。

●原因 3
WR211PCM が、WR211PCI-OP の PC カードスロットにきちんと装着されていない。
○対応方法
PC カードスロットの奥までしっかり挿し込んでください。
また、この際に、WR211PCI-OP のPC カードスロット横にある指示に従い、正しい方向に挿入してください。

8.2 ドライバーが正しくインストールされていない

WR211PCI-OP/WR211PCM をインストール後、リソースが割り振られないなどの原因によりデバイスマネージャ上の「PCMCIAソケット」ー「Texas Instruments PCI-1410 CardBus Controller」および「ネットワークアダプタ」ー「Allied Telesis WR211PCM Wireless LAN Card」アイコンに、赤や黄色の「?」、「!」、「×」マークが付いている場合は、次の方法を試してみてください。

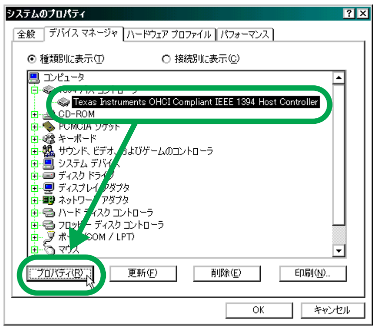
■ PCI スロットを変更する

WR211PCI-OP の PCI スロット装着位置を変更することによって、WR211PCI-OP/WR211PCM が動作するために確保するリソース（割り込み、I/O の範囲、メモリーの範囲）が変更され、動作が改善される場合があります。

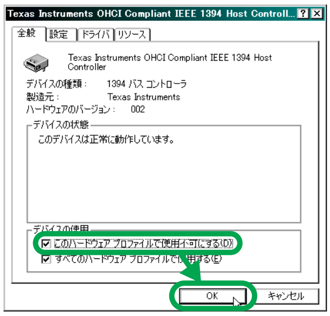
■使用しないデバイスを使用不可にする

通信ポート、プリンターポート、赤外線ポート、USB コントローラー、サウンド、内蔵ネットワークアダプター、IEEE1394 コントローラーなどで、使用しないデバイスがある場合は、「デバイスマネージャ」から、使用しないデバイスをクリックし、「使用不可」をチェックすることにより、リソースが空き、動作が改善される場合があります。
Windows 98 の場合の変更手順（例）を次に示します。

（1）「デバイスマネージャ」から使用しないデバイスを選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。



（2）「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」チェックボックスをチェックし、「OK」ボタンをクリックします。



また、上記のデバイスで、使用していない拡張ボードがある場合には、「使用不可」チェックを行わず、直接ボードを取りはずします。

■コンピューターの BIOS 設定を変更する

「■ 使用しないデバイスを使用不可にする」（p.29）で使用不可に設定したデバイスを、BIOS 設定から無効にします。

また、PCI スロットの割り込みを固定に設定します（設定項目がないコンピューターもあります）。BIOS 設定についての詳細は、お使いのコンピューターのマニュアルをご覧ください。

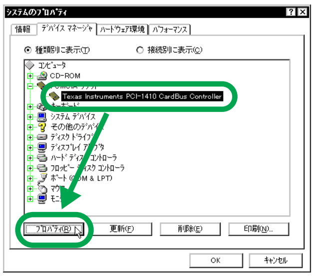
■コンピューターの BIOS を最新にする

コンピューターの BIOS を最新に変更することにより、動作が改善する場合があります。BIOS のアップデートに関しては、メーカーにお問い合わせください。

■ WR211PCI-OP の「メモリの範囲」を変更する

WR211PCI-OP が使用する「メモリの範囲」を変更することにより、動作が改善する場合があります。Windows 98 の場合の変更手順（例）を次に示します。

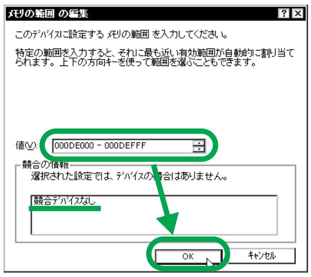
(1) 「スタート」メニューから、「設定 (S)」→「コントロールパネル」→「システム」を選択します。「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「PCMCIA ソケット」の下の「Texas Instruments PCI-1410 CardBus Controller」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。



(2) 「リソース」タブをクリックし、「自動設定を使う」のチェックをはずします。
リソースの種類で、「メモリの範囲」を選択し、「設定の変更」ボタンをクリックします。



(3) 「メモリ範囲の編集」画面が表示されます。値 (V) を競合デバイスのない値に変更し、「OK」ボタンをクリックします。



8.3 WR211PCM の設定またはネットワークの設定が正しくない

次の現象が起こる場合は、「WR211PCM」に付属のユーザーマニュアルの「2.5.3 本製品の設定が正しくない」または「2.5.4 本製品を取り付けたコンピュータのネットワーク設定が正しくない」を参照してください。

- WR211PCM を取り付けたコンピューター同士で通信ができない
- アクセスポイントを使用して通信できない
- 「ネットワークコンピュータ」に他のコンピューターが表示されない
- WR211PCM を取り付けたコンピューター同士、またはアクセスポイントと通信ができない

8.4 正常に動作しない

●原因 1
ご使用のコンピューターのパワーマネージメント機能、サスペンドレジューム機能が動作している。
○対応方法
パワーマネージメント機能、サスペンドレジューム機能の設定をオフ（無効）にしてください。（詳細については、コンピューターのマニュアルを参考にしてください。）

A 付録

A.1 製品仕様

インターフェイス仕様	
PCMCIA	PCMCIA Release2.1/JEIDA Ver4.2
PCI	PCI Local Bus Specification Rev2.2
電源部	
動作電圧	DC +5V ±5%
最大消費電流	84mA
発熱量	1.12kcal/h
環境条件	
動作時温度	0 ～55℃
動作時湿度	80% 以下（ただし結露なきこと）
保管時温度	-20 ～ 65℃
保管時湿度	95% 以下（ただし結露なきこと）
外形寸法	
	18.5(W) × 135.0(D) × 98.0(T)［mm］
重量	
	約 75g

B 保証

本製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、障害発生時のユーザーサポートや修理などを受けられません。

■保証の制限
本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

C ユーザーサポート

障害回避などの技術的なサポートを受ける場合は、巻末の「調査依頼書」をプリントアウトしたものに必要事項を記入し、下記にファクスしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。ファクスによって詳細な情報を送付していただく方が、電話による問い合わせよりもより早く問題を解決することができます。記入内容の詳細については、「C.1 調査依頼書のご記入にあたって」（p.31）をご覧ください。なお、都合によりご連絡が遅れることもございますので、予めご了承ください。

アライドテレシス株式会社　サポートセンター

Tel: 0120-860-772
月～金（祝・祭日を除く）9:00-12:00 13:00-18:00
土（祝・祭日を除く）10:00-17:00
Fax: 0120-860-662
年中無休 24 時間受け付け

C.1 調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも次の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

■ハードウェアとソフトウェア

1. ご使用製品のシリアル番号、製品リビジョン
   本製品に貼られたシリアル番号シールのシリアル番号（S/N）、製品リビジョンコード（Rev.）を調査依頼書に記入してください。

   （例） S/N 000770000002346 Rev 1A

2. ご使用の当社のソフトウェア
   当社製ソフトウェアをご使用になっている場合は、そのソフトウェアの種類、バージョン（Ver.）、シリアル番号（S/N）を記入してください。それらは、フロッピーディスクのラベル上に記入されています。
3. ご使用のコンピューターの機種
   ご使用になっているコンピューターのメーカー名、機種名をご記入ください。
4. ご使用の周辺機器
   CD-ROM ドライブ、サウンドボード、SCSI ボードなどの他社製拡張アダプターや、メモリマネージャなどのユーティリティーをご使用の場合はそれら全てについてご記入ください。
5. ご使用のサーバー、UNIX システムの機種、OS など
   接続しているサーバーの機種とその環境を可能な限りご記入ください。(例えば,NetWare 4.11J､WindowsNT Version 4.0 Server、FreeBSD 2.2.5 など)

■お問い合わせ内容

- どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に（再現できるように）記入してください。

- 障害などが発生する場合には、本製品と併用されているユーティリティーや、アプリケーションの処理内容もご記入ください。
- AUTOEXEC.BAT、CONFIG.SYS、バッチファイルに関しては、そのファイル内容のプリントアウトを必ず添付してください。
- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容のプリントアウトなどを添付してください。
- Windows95/98 の場合、お手数ですが、可能な限りシステムレポート(OS が自動生成するシステムに関するレポート、名称はOS によって異なります）を出力し、添付いただきますようお願いいたします。

■接続の構成図

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。

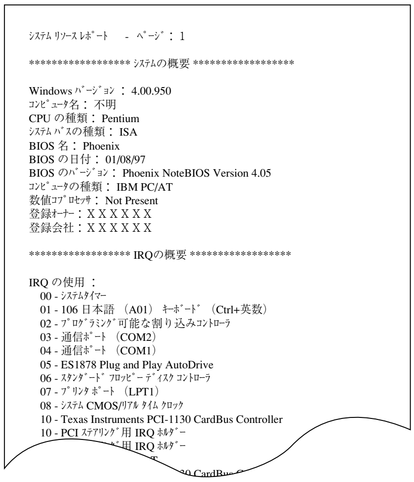
C.2 システムレポートの出力方法

システムレポートは、Windows95/98/Me/2000 が自動生成するシステムに関するレポート（名称は OS によって異なります）で、次の手順で印刷することができます。

（1） コントロールパネルから「システム」を起動し、「デバイスマネージャ」タブを表示します。

（2） 「印刷(N)...」ボタンをクリックします。

（3） 「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの概要(A)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。



ｼｽﾃﾑ ﾘｿｰｽ ﾚﾎﾟｰﾄ - ﾍﾟｰｼﾞ：1

****************** ｼｽﾃﾑの概要 ******************

Windows ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ ： 4.00.950
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ名： 不明
CPU の種類： Pentium
ｼｽﾃﾑ ﾊﾞｽの種類： ISA
BIOS 名： Phoenix
BIOS の日付： 01/08/97
BIOS のﾊﾞｰｼﾞｮﾝ： Phoenix NoteBIOS Version 4.05
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀの種類： IBM PC/AT
数値ｺﾌﾟﾛｾｯｻ： Not Present
登録ｵｰﾅｰ：ＸＸＸＸＸＸ
登録会社：ＸＸＸＸＸＸ

****************** IRQの概要 ******************

IRQ の使用 ：
00 - ｼｽﾃﾑﾀｲﾏｰ
01 - 106 日本語 （A01） ｷｰﾎﾞｰﾄﾞ （Ctrl+英数）
02 - ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ可能な割り込みｺﾝﾄﾛｰﾗ
03 - 通信ﾎﾟｰﾄ （COM2）
04 - 通信ﾎﾟｰﾄ （COM1）
05 - ES1878 Plug and Play AutoDrive
06 - ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ﾌﾛｯﾋﾟｰ ﾃﾞｨｽｸ ｺﾝﾄﾛｰﾗ
07 - ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾎﾟｰﾄ （LPT1）
08 - ｼｽﾃﾑ CMOS/ﾘｱﾙ ﾀｲﾑ ｸﾛｯｸ
10 - Texas Instruments PCI-1130 CardBus Controller
10 - PCI ｽﾃｱﾘﾝｸﾞ用 IRQ ﾎﾙﾀﾞｰ

図 C.2.0.1 システムレポートの出力例（Windows95 の場合）

C.3 最新ドライバーソフトウェアの入手方法

当社は、改良などのために予告なく、本製品のドライバーのバージョンアップやパッチレベルアップを行うことがあります。最新のドライバーソフトウェアは、弊社ホームページから入手する事ができます。

■ホームページからの入手

（1） Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator などの Web ブラウザを使用して、アライドテレシスのホームページ「http://www.allied-telesis.co.jp/」にアクセスします。

（2） 「サポート」の「ダウンロード」をクリックしてください。

（3） 「LAN アダプター・ドライバー覧リスト」をクリックしてください。

（4） LAN アダプターの一覧から選択してください。

D ご注意

- 本マニュアルは、アライドテレシス（株）が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス（株）が保有しています。アライドテレシス（株）に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
- アライドテレシス（株）は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。

- アライドテレシス（株）は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

E 商標について

CentreCOM、CentreNET はアライドテレシス株式会社の登録商標です。
Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

F マニュアルバージョン

2000年 10月 Rev.A　初版

調査依頼書（ WR211PCI-OP 1/2）

年　月　日

一般事項

1. 御社名：
部署名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　ご担当者：
ご連絡先住所：〒

TEL:　（　　）　　　　　　　　FAX:　（　　）

2. 購入先：　　　　　　　　　　　　　　　　購入年月日：
購入先担当者：　　　　　　　　　　　　　　　連絡先（TEL）：　（　　）

ハードウェアとソフトウェア

1. ご使用のカードのシリアル番号、製品リビジョン

WR211PCI-OP　S/N________________ Rev___

2. ご使用の当社のソフトウェア
□本製品のセットアップユーティリティーディスクVer.pl.
□ CentreNET AT-TCP/32　Ver.　pl.　S/N
□その他（　　　　　　）Ver.　pl.　S/N
□その他（　　　　　　）Ver.　pl.　S/N

3. ご使用のコンピューターについて
メーカ名：____________　機種名：____________
OS：____________　バージョン：____________
サービスパック：____________

4. ご使用の周辺機器について
□ CD-ROM ドライブ：____________
□サウンドボード:____________
□ SCSI ボード：____________
□その他：____________

5. 5. ご使用のサーバー、UNIX システムの機種、OS など

____

____

6. トラブルの発生時期
□セットアップ中に起こっている障害
□セットアップ後、運用中に起こっている障害

7. システムレポート
□添付あり
□添付なし

調査依頼書（ WR211PCI-OP 2/2）

年　月　日

お問い合わせ内容

接続の構成図

簡単で結構ですからご記入をお願いします。